

たかの橋通信

外来診察担当医表

診療科		月	火	水	木	金	土
耳鼻咽喉科	午前	院長	院長	院長	院長	院長	院長
	午後	院長	院長	院長		院長	手術
泌尿器科	午前	1診	林(睦)	井上	林(睦)	林(睦)	林(睦)
		2診	井上	林(睦)	井上	井上	井上
		検査	岡	岡	岡・林(哲)	岡・林(哲)	岡
	午後	1診	林(睦)	林(睦)	手術		林(睦)
		2診	井上	井上			井上
		検査	岡	岡			岡
外科	午前	手術	内田	手術/内田	手術/内田	広大 (第2外科)	内田
	午後	手術	内田	手術/内田		手術/内田	
血管外科	午前	春田	手術			春田	
	午後	手術	手術	春田		手術	
乳腺外来	午前						片岡(予約制)
内科	午前	1診	大石	保澤(糖尿)	大石	大石	横山
		2診	長尾	小泊	長尾	小泊	保澤(糖尿)
		3診		中村		宮本(喘息)	中村
		循環器外来			西樂		
	午後	1診		田妻(胆石) 大石			
		2診	小泊	小泊			小泊
3診				中村			
整形外科	午前	久保田		久保田	久保田	久保田	下瀬
	午後	久保田	久保	久保田		久保田	
歯科口腔外科	午前	吉賀	9:00吉賀 10:00~12:30 腫瘍外来	吉賀	吉賀	吉賀	吉賀
	午後	手術	手術	手術		手術	手術
皮膚科	午前	安永		安永		安永	
	午後						
脳神経外科 (ガンナイフ治療)	午前				秋光		橋詰
	午後		秋光	秋光		秋光	
セカンド オピニオン	午前						廣川 (予約制)

※泌尿器科においては、一部予約制となっています。

※脳神経外科においては、ガンナイフ治療のため紹介患者のみの外来となっています。

※乳腺外来・セカンドオピニオン外来・歯科口腔外科外来につきましては、要予約となっています。

		診療時間	
平日	午前	9:00~12:30 (受付8:30~12:30まで)	※ 火曜日、整形外科午前休診
	午後	14:30~18:00 (受付18:00まで)	※ 火曜日、10:00~12:30歯科口腔外科腫瘍外来
木曜	午前	9:00~12:30 (受付8:30~12:30まで)	※ 泌尿器科は受付12:00まで
	午後	休診	
土曜	午前	9:00~13:30 (受付8:30~13:30まで)	※ 歯科口腔外科は受付12:30まで
	午後	休診	





たかの橋通信

医療法人社団 仁鷹会 たかの橋中央病院

広報委員会

第5巻 第1号

2010年 5月 12日 発行

理念

- ・ 良質で心温まる医療
- ・ 奉仕の精神
- ・ 研鑽と謙虚

基本方針

- ・ 患者さまの権利を守ることを第一とする
- ・ 患者さまとのコミュニケーションを大切にする
- ・ 常に医療倫理の元に行動する
- ・ 医療安全管理の基本を怠らない
- ・ 良い接遇は良い医療を生み出すことを銘記する



当院は、病院機能評価認定病院です

口腔外科のご紹介

口腔外科部長 吉賀浩二

口腔外科の名称、医療内容はまだまだ理解されていない部分が多いかと思えます。

近年、あらゆる分野で専門医制度がとられるなか、歯科では歯科矯正科(歯並びを整える治療)、歯科・口腔外科が一般標榜として認められました。

一般歯科医療と口腔外科医療では何が違うのでしょうか？

顎・口腔は、人の体の部分としては、顔面の下2/3を構成する部分にあたり、上部消化器の一部で、上気道の一部であります。

えんげ そしゃく

機能としては、会話、嚥下、咀嚼、味覚を担っています。

これらは、健康な歯牙、歯槽骨、上下の顎骨、顎関節、歯肉、口腔粘膜、舌、口腔底、口蓋、そして大唾液腺、小唾液腺よりの唾液の分泌によりより円滑に機能されるようになっていきます。

これらの組織に何らかの病気が生じた場合に、治療が必要になります。

まず、歯に関しては虫歯菌の感染による齲蝕歯(むし歯)、歯牙欠損です。またむし歯はないのに歯がぐらぐらする、強く咬むと痛い、歯肉から出血するなどの症状の方は歯周組織炎(従来の歯槽膿漏症)です。一般歯科ではこれらを中心に医療がなされています。

口腔外科では

- ・ 炎症性疾患(歯肉、上あご、下あご、あご周囲の感染)
- ・ 歯性疾患(埋伏過剰歯、水平埋伏智歯、下顎管、上顎洞と極めて近接した歯牙、歯性上顎洞炎とその原因歯など)
- ・ 嚢胞性疾患(軟組織嚢胞、顎骨内嚢胞など)
- ・ 外傷性疾患(口腔、歯牙顎骨、顔面外傷など)
- ・ 粘膜疾患(口内炎、その他難治性口内炎など)
- ・ 唾液腺疾患(唾液腺炎、唾石症など)
- ・ 顎関節疾患(顎関節症、顎関節炎、脱臼など)
- ・ 発育異常(舌小帯異常、唇顎口蓋列裂、唇顎口蓋列裂術後残遺瘻、孔、顎変形症など)
- ・ 全身管理を必要とする口腔外科的処置の必要な場合
- ・ 腫瘍性疾患
 1. 良性腫瘍
 2. 悪性腫瘍
 3. 前癌病変
- ・ 神経疾患(舌神経麻痺、頤神経麻痺、下歯槽神経麻痺、三叉神経痛など)
- ・ 再建、移植外科(口腔、舌、粘膜、歯槽・顎骨領域の機能的再建など)

などの疾患の治療を外来、入院で局所麻酔(場合により鎮静療法併用)、全身麻酔下に行います。

疾患としては、全身全てに起こりうる疾患が顎・口腔領域でも同様にみられます。経口摂取が可能で会話が円滑になされること、これらはすべての疾患の患者様にとって重要で基本的なことです。

たかの橋通信

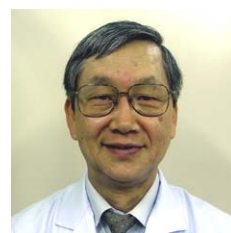
新任医師紹介

平成22年4月1日より、新たに開設されました「たかの橋中央病院 口腔外科」を担当しております吉賀浩二と申します。昭和48年広島大学歯学部第一口腔外科に入局、昭和52年同講座助手、以来33年間口腔外科の医療を専門に行ってきました。昭和49年から1年間広島大学医学部麻酔科にて研修、昭和55年から1年間西ドイツ(ベルリン)ウイルヒョウ記念病院、ベルリン自由大学、チュービンゲン大学、顎顔面外科にて研修いたしました。たかの橋中央病院では隣接領域の耳鼻咽喉科と連携しながら、顎・口腔外科の外科的治療を主体に、審美、機能的に精度の高い、体に優しい、痛みの少ない医療を実践していきたいと思っています。新しい医療を実践スタートするにあたって、大切な医療スタッフにも恵まれております。一步一步着実に充実した診療科になるよう精一杯努力いたしたく思っています。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



口腔外科 吉賀 浩二

4月から勤務しております内科の小泊好幸です。医学部卒業後は広島大学病院、吉島病院、県立広島病院、国立診療所畑賀病院、広島医師会運営・安芸市民病院に勤務し呼吸器内科の診療に従事してきました。最近ではCOPD、気管支喘息や呼吸器感染症を主体に診療しています。当院でも新しい仲間たちと共に診療を続けていますので咳や痰が続く方、呼吸困難のある方などお気軽にご相談下さい。



内科 小泊 好幸

4月に赴任して参りました内科の長尾と申します。平成元年に熊本大学を卒業して、北海道大学病院神経内科で修練したのち、東京大学大学院にて神経内科学の研究に従事致しました。その後、一般内科医として勤務しておりましたが、平成18年から本年3月まで広島大学病院分子内科学(第二内科)に入局し、大学病院で呼吸器内科を中心とした内科一般の診療に就いておりました。これまでの経験を活かして、人と人の支えあいを大事に、皆様と共に歩む治療を目指して、内科診療に力を尽くしていきたいと思っております。どうか、よろしく願い申し上げます。



内科 長尾 早江子

はじめまして。この度たかの橋中央病院外科に赴任してまいりました橋本慎二と申します。平成16年に広島大学を卒業後、土谷総合病院にて2年間臨床研修を行い、第二外科入局後は県立広島病院、土谷総合病院(透析)、大学病院で経験を積み、今年で7年目になります。これまでは主に消化器外科(胃癌・大腸癌)に加え移植外科(肝・腎移植)、透析外科の診療を行ってまいりました。本院では春田先生、内田先生の下で血管外科、消化器外科を中心に外来診療および手術にあたらせていただきます。週2回(月・金)と非常勤であり、本院は初めてのため、皆様には色々ご迷惑をおかけすると思いますが、これまでの経験を活かして全力でがんばりますので、気軽にお声をかけて下さい。宜しくお願いいたします。



外科 橋本 慎二

はじめまして。4月から赴任して参りました楠部(なんぶ)と申します。2年間、都立墨東病院で小児科中心の研修を積んでおりましたが、ある時メスを持つ喜びを知ってしまい、生まれ育った広島へ戻って広島大学第二外科へ入局致しました。その後はJA尾道総合病院に2年、東広島医療センターに1年、広島大学病院に1年、あかね会土谷総合病院に2年勤務し、幸い、これまでに消化器外科、呼吸器外科、乳腺外科、甲状腺外科と幅広い分野の経験を積む機会に恵まれてきました。このたび、さらに血管外科と内視鏡外科に特化したたかの橋中央病院で外科診療に携わることができ、楽しく過ごしております。外科系の疾患に悩んでおられる女性患者様も多いと思います。同姓としてお役に立てることができればと考えておりますので、是非お気軽にお声をかけ下さい。



外科 楠部 潤子

たかの橋通信



皮膚科 安永 眞代

このたび当院にご縁をいただき、4月に皮膚科に赴任しました安永と申します。福岡県福岡市より広島に来て早6年が経ち、何となく広島の地理がわかるようになった今日この頃です。ご存じのように、皮膚科は月・水・金曜日の午前中と限られた時間帯で診療を行っていますので、なかなか外来患者さんも受診しにくく、また、院内紹介・病棟処置の時間帯など、ご不便やご迷惑をおかけしているかと存じます。診療に当たっては一生懸命に取り組む所存ですので、よろしくお願い致します。また、病棟主治医の先生方や病棟スタッフの方々もご要望等がございましたらお気軽に何なりとお伝え下さい。

はじめまして、2010年4月より泌尿器科に赴任してきました、岡清貴と申します。ここに来る前は、松山赤十字病院で2年、広島総合病院で2年弱働いておりました。去年、泌尿器科専門医試験に合格し、現在7年目の医者です。この病院では結石治療を中心に学んでいきたいと思っています。プライベートでは、3月に結婚したばかりの新婚です。また1月からゴルフをはじめたところであります。皆様、何とぞよろしくお願い致します。



泌尿器科 岡 清貴

診療報酬改訂について

● 平成22年度改定のポイント

1. 10年振りのネットプラス改定
2. 社会保障費年2.200億円の削減が行えず、薬価・材料の引下げ分が改定原資となった
3. 医科：歯科：調剤の配分が従来の1：1：0.4が1：1.2：0.3とされた
4. 財務省主導

(1) 医療崩壊の解消に向けた改定と期待するも、異例の財源枠(医科改定率のうち、入院：+3.03%、外来：+0.31%)と枠がはめられた

(2) 後発医薬品のある先発医薬品の引下げ財源

(3) 事業仕分け結果を忠実に反映⇒中医協の権限縮小

● 診療報酬改定の基本方針3項目(2つの重点課題と4つの視点)

【重点課題】

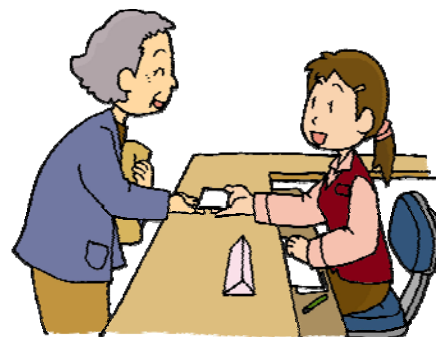
1. 救急、産科、小児、外科等の医療の再建
2. 病院勤務医の負担軽減(医療従事者の増員に努める医療機関への支援)

【4つの視点】

1. 充実が求められる領域を適切に評価していく視点
2. 患者がみてわかりやすく納得でき、安心・安全で生活の質にも配慮した医療を実現する視点
3. 医療と介護の機能分化と連携の推進等を通じて、質が高く効率的な医療を実現する視点
4. 効率化の余地があると思われる領域を適正化する視点

【後期高齢者医療】

75歳以上という年齢に着目した診療報酬体系の廃止



4月より領収書とともに診療報酬明細書の発行が義務化となっており、皆様にお渡ししています。

めまぐるしく変化する医療保険制度、医療を提供する側 医療を受ける側も正しい情報収集と理解をもってよりよい医療サービスの充実を図っていかねばなりません。

とくに4つの視点は社会貢献や公共性を重視していくために今後重要であると思われます。

2年後は医療介護同時改正です。日本の医療・福祉が破綻することのないよう適正な医療改正を期待します。

医事課

編集後記

年度も替わり、広報担当も新メンバーとなりました。今後も皆様に役立つたかの橋通信を作っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

福利厚生・広報 田中